

# KiKiの広場

2012年 1月 5日

cafe NO.15  
KiKi



## あけましておめでとうございます！

辰年生まれには、世界三大女傑（ジャンヌ・ダルク ナイチンゲール ヘレン・ケラー）がいるそうです。向上心を持って自分の信念を貫いた女性たちですね。みんながみんな彼女たちのように、困難にくじけず強く生きることがなかなか難しいと思いますが、せめて今年は、昇り竜のように少しでも上を向いて笑うことがいっぱいある年になるといいなあと思います。

みなさま、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



### 1月の予定

10日(火)	休館日
--------	-----

### 「今月のケーキ」・・・「かぼちゃの焼きケーキ」 300円



バターをたっぷり使用した生地にかぼちゃを練り込み、かぼちゃスライスと甘く煮た小豆をトッピングした素朴なケーキです。

温かいケーキとしても美味しくいただけます。



### 今月のお気に入り・・・「冬の本 その2」

～「ね、うし、とら・・・十二支のはなし」「雪の写真家 ベントレー」「きらきら」「なつのゆきだるま」などなど～

冬は子どもたちにとって、クリスマス・お正月と嬉しい行事が続きますね。そしてもう一つ、ワクワクするのが、雪です。その雪の結晶の写真撮影に努力したのが、外国ではベントレー、日本では吉田六郎さんです。「きらきら」は、その美しい写真と谷川俊太郎さんのやさしい言葉が響きあって、ひとつとして同じものがない雪の結晶の世界へ、私たちを導いてくれる素敵なお本です。「なつのゆきだるま」は「どろんこハリー」のジーン・ジオンと奥さんのグレアムコンビの作品です。あたたかく優しい気持ちになれます。



### 今月の本棚・・・「りゅうが出てくる本」

～「龍」「竜のはなし」「山をはこんだ九ひきの竜」「でんでら竜がでてきたよ」「騎士とドラゴン」などなど～

「辰」にちなんで、いろいろな「りゅう」を連れてきました。干支の中で唯一の架空動物とはいえ、神話や民話に多く登場し、神の化身であったり、神や仙人の乗り物であったりと、昔の人々にとっては想像上の生き物ではなかったのかもしれませんが、ちなみに、日本列島の形って、龍のように見えますね。



「龍」は気の弱い龍が、田島征三さんの迫力のある絵で描かれている楽しい絵本です。「竜のはなし」は、「このおはなしはおとぎばなしではありません」という前書きから始まる、宮沢賢治の強い思いが伝わってお話です。他の生き物の為に自分を犠牲にする竜、ジーンと胸に響きます。「でんでら竜がでてくるよ」は、長崎の童歌から生まれた絵本です。ながさき言葉の楽しさと物語の面白さ、そして、木版画のモノクロの挿絵がすばらしくて、13章からなっていますが、あっという間に読んでしまいます。

### ミニ ほっとフレイク

クリスマスの日の朝、オープン前から「いいですか？」と入って来られた若いカップル。2人で楽しそうにおしゃべりされること2時間。時計を見て、「あっ、もうこんな時間！」とお昼を過ぎてから帰られました。

時を忘れてお互いの顔を見ながら夢中で話すって・・・、そう言えば昔、そんなことあったなああと・・・しばし、遠い過去にタイムスリップ。ちょっぴりキュン♥となるクリスマスの出来事でした。

(私たちおばちゃん同士では、日常茶飯事ですけれどね。^^;)

